

令和3年度 第1回 富良野市上下水道事業経営審議会 議事録（要点筆記）

開催日時 令和3年8月18日（水） 午後1時30分から午後2時30分まで

開催場所 富良野市役所 大会議室

出席者 委員 杉谷久己、笠倉要一、糠谷諭、早川英剛、倉西裕明、田中信康、
小玉将臣、天内繁（計8名）

（欠席：吉中文也、年代哲也、高橋 静、平間早苗、四ツ嶋健吾）

事務局員 小野建設水道部長、北川上下水道課長、関澤業務係長、
鈴木水道施設係長、香川下水道施設係長（計5名）

《上下水道課長の進行で開会》

○辞令交付

○市長あいさつ

本市の水道事業は昭和39年通水開始され57年経過、下水道は富良野処理区が平成2年、山部処理区が平成14年に供用開始され31年目、19年目を迎えている。

人口減少、少子高齢化、コロナ禍の影響による宿泊施設等の休業により使用水量が減少し昨年度の料金収入は大幅に減少となった。

各施設の機械、電気設備や配水管の老朽化が進み修繕等を実施しているが、国の交付金削減もあり更新計画にも遅れが生じている状況である。

今後も財政収支状況を見極めながら更新事業を実施し、安全安心な水道水の供給と環境衛生の向上に努めていきたい。

○事務局の紹介及び審議委員の自己紹介

【事務局より】

- ・本審議会は過半数の委員が出席していることから、条例第6条第2項の規定により、成立していることを報告する。

○役員選出

- ・役員選出は条例第5条第1項により、会長、副会長を置き、委員の互選によるとされているが、意見などないか。

特に意見なければ事務局案について、提案して良いか。（承知された。）

会長に、富良野社会福祉協議会の小玉様、副会長に富良野商工会議所の年代様を提案委員からの意見、異議等なく、承諾される。

～以降、小玉会長が議事進行～

会長：本審議会では、市長からの諮問事項はないため、議案にある報告事項について事務局より説明いただき、各委員からの質疑等を求め進行していく。

○議事

報告事項1 審議会の役割（小野建設水道部長より）

◆委員からの質疑等なし

報告事項2 上下水道事業の概要について（課長、各担当係長より）

- ・第6次富良野市総合計画での上下水道事業の位置付けと考え方について
- ・水道事業、簡易水道事業、下水道事業の経営指標説明と全体的な状況について
- ・水道事業及び簡易水道事業並びに地域自立型水道（水道組合）について
- ・令和3年度下水道事業の更新工事概要について

《質疑》

Q：類似団体とは？

A：一般的には人口や産業構造などで設定された類型に分類された自治体で、本市では深川市や士別市など。上下水道事業ではもっと細かく分類されている。似通った自治体のことである。

《了解された。》

Q：水道事業の料金回収率が100%でない理由は？

A：料金回収率は給水に係る費用が料金収入でどの程度賄われているかを示す指標で、本市では料金収入だけで費用を賄えてない状況であり、他会計からの補助金で賄っている状況であるため100%以下となっている。

《了解された。》

Q：「公共」と「特環」の違いは？

A：「公共」とは富良野市内の下水道で都市計画区域内での下水道事業を「公共」といい、「特環」とは山部地区の下水道で都市計画区域外における下水道事業のことを言う。広義的には両者を公共下水道と言う。

《了解された。》

Q：老朽管の更新計画は？

A：水道管の耐用年数は40年で約22%が40年超過となっている。下水道管は50年の耐用年数であり、処理場の機械、電気設備の更新を優先している。年数経過のみで更新をするのではなく、漏水発生状況などを分析し更新地区を検討していく必要があり、漏水調査の結果を参考に計画を策定していきたいと考えている。

《了解された。》

Q：水道管が老朽化すると水道水が汚れるのではないか？

A：水道の配水管には常に水圧がかかっている状態で、ひび割れなどで漏水しても土砂が入り込むことはない。災害等で切断された場合には土砂の影響が生じる。老朽化した配水管が切断されることは考えにくいので、老朽化することで水道水が汚れることは無い。宅内配管は個人資産であり管種により老朽化でサビが生じ茶色になる場合がある。

《了解された。》

Q：漏水調査の状況について、どの程度発見されるのか？

A：平成29年度から実施している本管漏水調査では、本管と給水管（個人宅への引込み管）も調査している。給水区域をブロック分けし調査しているが、本管よりも引込み管の比較的小さな漏水が年間20箇所程度発見され、修繕している状況である。

○その他

次回の開催予定はないが、市長からの諮問事項が生じた場合に開催案内する。

《委員全員了解》

閉 会（14時30分）

【傍聴者なし】